

職員朝礼校長より 2.

10月4日（木）「教わる気になるな、問いも自分で見つけろ」

「学問」は問いを学ぶこと、「哲学」は知りたいと思うこと、問いです。ではどうしたら問いが生まれるか。問いの出所はどこにあるか。古代哲学のはじまりは「**タウマゼイン（驚き）**」だと言われています。不思議に思うこと、思いを破る感動です。子どもにそのような驚きに触れさせる工夫をして下さい。そしてそれに言葉を与え文字にさせて下さい。問いはそこから起こります。

これに対し近代哲学のはじまりは**懐疑**です。デカルトの方法的懐疑がそれです。当たり前だと思わないこと、疑うことです。

先日、本庶佑さんがノーベル賞を受賞しました。子どもたちに向けた言葉配下のとおりです。「重要なのは知りたい、不思議だと思う心を大切にすること、教科書に書いていることを信じない。あきらめない。そういう小中学生が研究の道を志してほしい」。

今後とも工夫をよろしくお願いします。